

もの忘れ受診手帳

受診前に記入してください
CR版・複数用

記入日： 年 月 日	記入者（ ）	
お名前 受診者名	性別 (男・女)	
生年月日 大正18年～平成 年 月 日 女		
現在の生活状況は？ 在宅・施設名()		
家族構図(既往歴)にしてください		
<p>* 男性：口 大きい：○ (□：又生存 ○：死生存) * ○：現在の居住を○で囲む</p>		
主介護者名：	年齢：	性別：
ご家族や施設の方と必ず連絡のつく専用番号		
お名前・施設名	ご関係	専用番号(携帯電話)
附録		
<p>私は、受診に必要な個人情報を、医療機関・介護サービスなどへ情報提供することを同意します。</p> <p>子姓 年 月 日</p> <p>本人 氏名</p> <p>署名代行者 氏名</p> <p>印</p> <p>印 紙印</p>		

受診前に記入してください

成績・施設用

身長 _____ cm

体重(kg)

/	/	/	/	/	/

- アルコール(年数と摂取量) 約 年間
1日 ビール・酒 約 ml
- たばこ(年数と本数) 約 年間
1日 約 本
- 難聴 有(右・左)・無
- 視力障害 有(右・左)・無
- 利き手 右・左
- アレルギー 有・無 お茶 _____ / 食べ物 _____

- 受診される方について
・お仕事は何をされていましたか？

・最終学歴は？ 小学・中学・高校(中等)・大学

・元々の性別は？(当ではまる項目にチェックしてください)

- 男 女 その他 まじの 社交め 清國 わがままで
ほがらか 神經質 優柔不遜 せっかち
その他 ()

受診前に記入してください

(成績・施設用)

これまでかかった病気

- 糖尿病 有・無・不明
- 高血圧 または 心臓疾患 有・無・不明
- 高脂血症 有・無・不明
- 脳卒中(脳梗塞 または 脳出血) 有・無・不明
- 精神疾患 有・無・不明
- 頭部外傷(打撲・交通事故など) 有・無・不明
- 認知症の家族歴 有・無・不明

○その他

〔 〕

受診前に記入してください

成績・施設用

介護保険

現在の要介護度

要支援(1・2) 要介護(1・2・3・4・5)

有効期限 年 月 日 ~ 年 月 日

介護サービス利用状況

--

要支援(1・2) 要介護(1・2・3・4・5)

有効期限 年 月 日 ~ 年 月 日

介護サービス利用状況

--

要支援(1・2) 要介護(1・2・3・4・5)

有効期限 年 月 日 ~ 年 月 日

介護サービス利用状況

--

要支援(1・2) 要介護(1・2・3・4・5)

有効期限 年 月 日 ~ 年 月 日

介護サービス利用状況

--

受診前に記入してください

成績・施設用

先生に伝えたいこと、困っていること

- もの忘れが増えた
心配しすぎる。何歳も同じことを聞く。
火の不始末がある。
夜、寝ない。あるいは寝とが迷走して、昼間寝ている。
訪問販売で高額な物を買っててしまうなど、金銭問題がある。
収集癖がある。物を隠す。また、物を盗られたと言って、大騒ぎする。
何もしようしない。何にも関心がない。(入浴、着替えを済がるなど)
自分が寝込みで、部屋に引きこもっている。
ご飯を食べない。痩せが目立つ。
トイレが頻に合わない/トイレの場所が分からぬ/トイレ以外のところでしてしまう。
豆知識。あるいは夜でも家を出ていこうとして、日が暮れない。
言葉のことが分からぬ。
ありもしないのが見える「聞こえろ」ようだ。または、妄想がある。
大声で発音を囁いたり、物を投げたり、暴力がある。
抑制が弱かない。社会的ルールが守れない(迷惑行為など)
おりやすい、興奮しやすい、自分が変わらやすい。
理解できないような、異常な行動がある。
食べ物ではないものを食べる。
近所や家族間、または他の施設利用者ヒートアップがある。
その他 ()

焦点情報(24時間生活変化)

※記入できる場合のみ

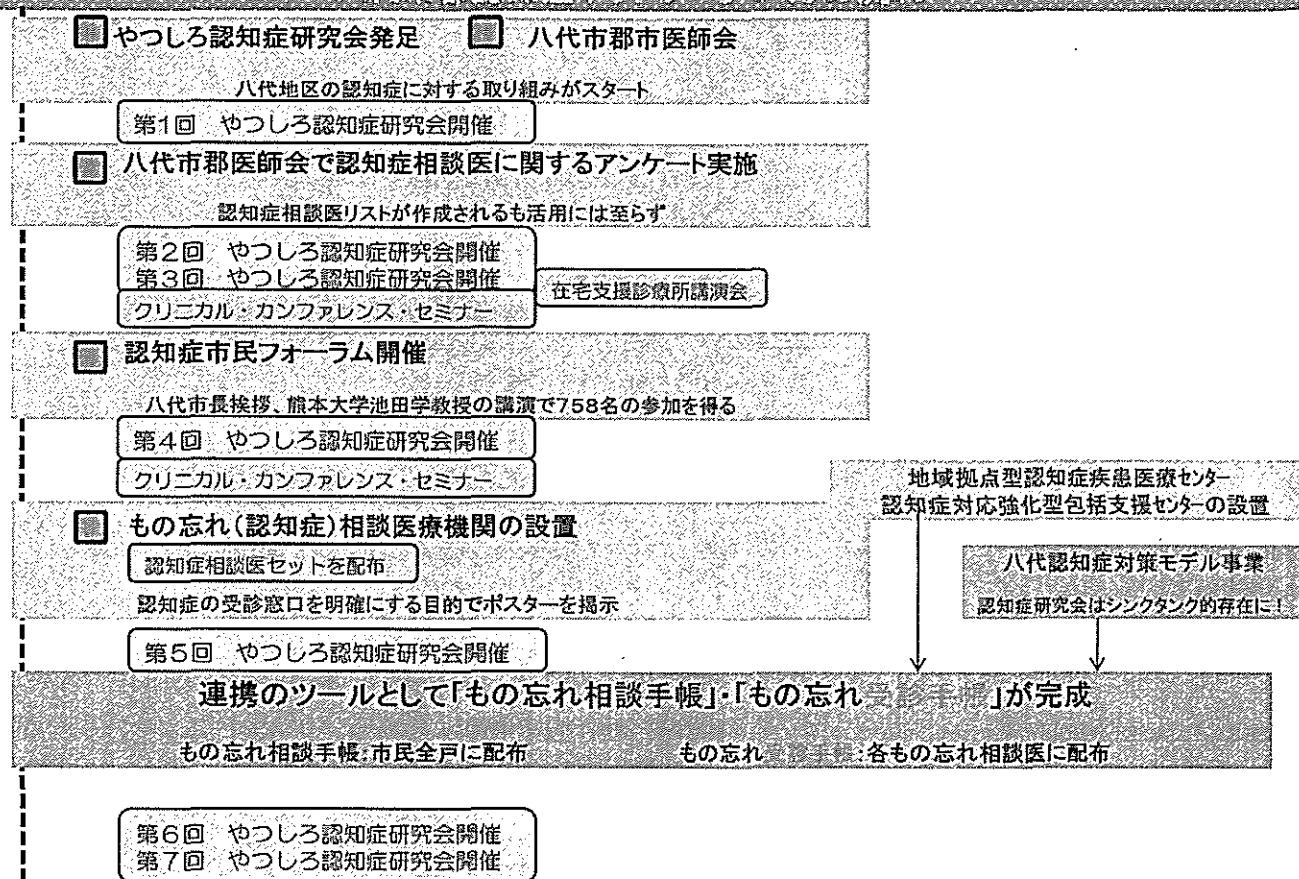
記入者()

被 害 者 分 類	その時 の具 体 的 な状 況	影響を与 えていると 考 えら れる要 素				
		非 常 に 良 い	よ い	中 間	や う で	非 常 に 悪 い
1	静 け た ま ま	-	-	-	-	-
2	静 け た ま ま	-	-	-	-	-
3	静 け た ま ま	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-	-
11	-	-	-	-	-	-
12	-	-	-	-	-	-
13	-	-	-	-	-	-
14	-	-	-	-	-	-
15	-	-	-	-	-	-
16	-	-	-	-	-	-
17	-	-	-	-	-	-
18	-	-	-	-	-	-
19	-	-	-	-	-	-
20	-	-	-	-	-	-
21	-	-	-	-	-	-
22	-	-	-	-	-	-
23	-	-	-	-	-	-
24	-	-	-	-	-	-
1	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-

○さんに関わっている人一覧

かかりつけの医療機関

八代市郡ノ知床ネットワークづくりの流れ



次のステップへ

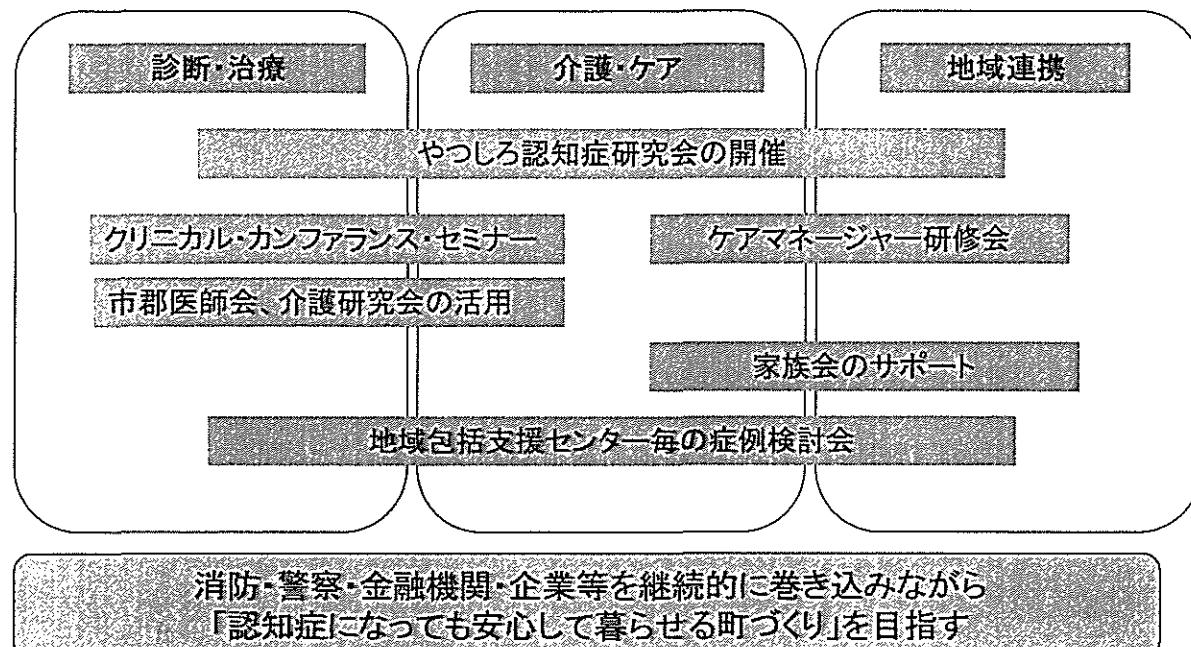
八代市郡医師会

地域拠点型認知症疾患医療センター

認知症対応強化型地域包括支援センター

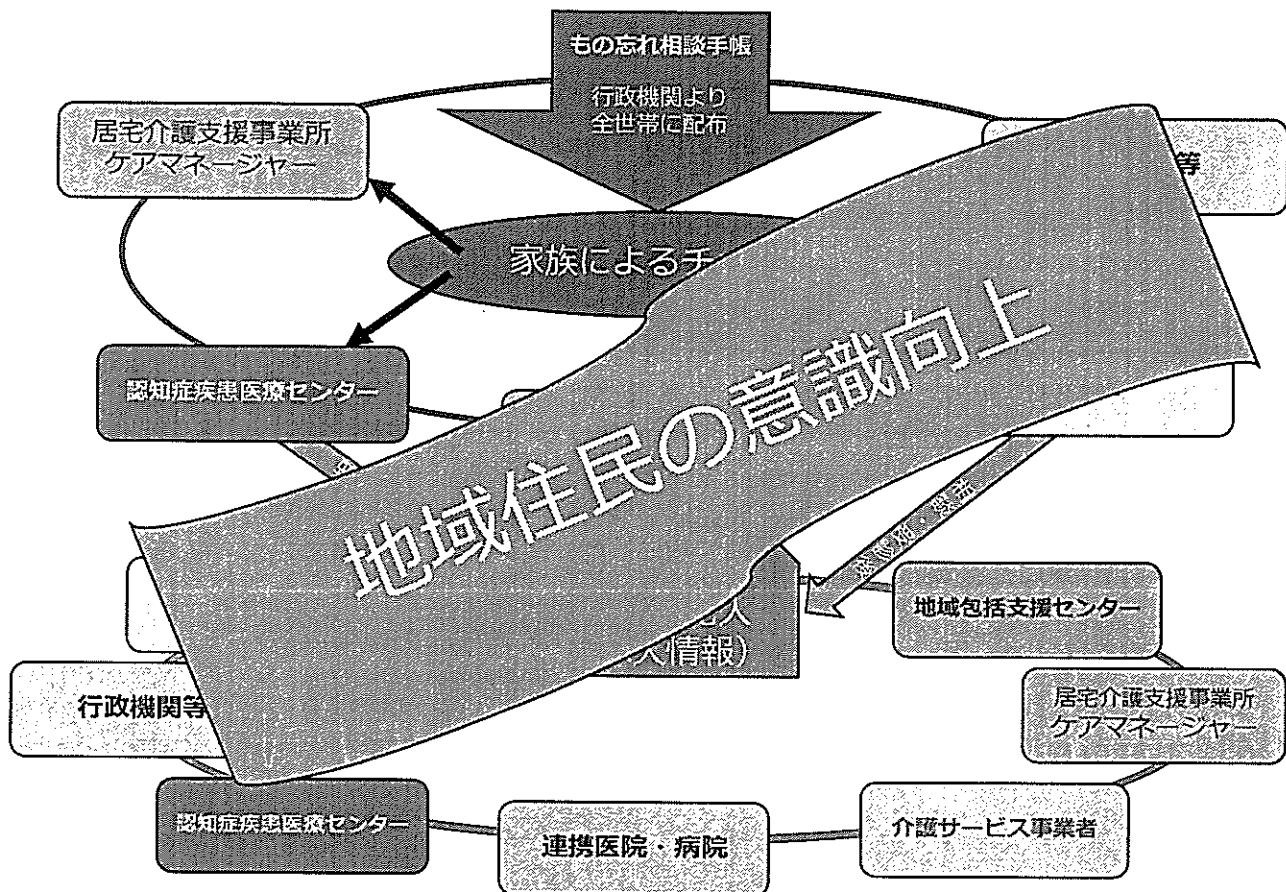
やつしろ認知症研究会

八代市認知症対策モデル事業



当認知症疾患センターの成果

1. 啓発活動等により、地域の方々の認知症に対する認識が変わり、気軽に相談・受診できるようになった。
2. 包括支援センターへ月1回訪問をしていることにより顔のみえる関係ができ、受診につながり、その後の連携が取り易くなった。
3. 定期的研修会、講演会、事例検討会の開催により、かかりつけ医、ケアマネージャーからの相談件数が増加
4. もの忘れ相談手帳を全世帯に配布できたことで、地域で認知症の早期発見・早期治療について周知できたと思われる。



事例 ①

- ・83歳女性 夫と二人暮らし 精神科受診拒否
- ・かかりつけ医 ⇒ 夫 ⇒ 地域包括支援センターへ相談・面接 ⇒ かかりつけ医
⇒ 認知症疾患医療センター受診・診断 ⇒ かかりつけ医
- ・初期状況
かかりつけ医受診時に近時記憶障害、実行機能障害が見られたため、ドクターより夫へ専門医受診を勧めたが、本人の強い拒否があり、地域包括支援センターにて医療相談となる。
- ・経過
当該地域包括支援センターより依頼があり、当認知症疾患医療センターより医師と連携担当者が訪問。
 ⇒ 本人面談の結果、かかりつけ医との信頼関係が保たれていることが判明。
 ⇒ かかりつけ医へ認知症専門医への受診を勧めてもらう。
 ⇒ 後日認知症疾患医療センターを受診。
 ⇒ 専門医による診断後、アリセプト処方。かかりつけ医の元へもどす。3か月毎の専門医受診は継続。

事例 ②

・74歳女性 独居 周辺症状増悪

・隣人 ⇒ 当認知症疾患医療センターへ相談 ⇒ かかりつけ医・地域包括支援センター
⇒ 認知症疾患医療センター受診・入院 ⇒ 施設入所

・相談時状況

幻覚・妄想に左右され、昼夜問わず徘徊等、周辺・地域への迷惑行為あり。対応困難。

・経過

隣人より当センターへ相談。かかりつけ医があること、他県在住の娘がいるとの情報を得る。

⇒ 娘、地域包括支援センターへ現状報告。併せてかかりつけ医へ情報提供を求める。

⇒ 娘、地域包括支援センター担当者、隣人同伴にて、認知症疾患医療センター受診につながる。

⇒ 認知症鑑別診断後、当病院へ入院。病状改善後、有料老人ホームへ入居となる。

事例 ③

・77歳男性 独居 未受診

・民生委員 ⇒ 地域包括支援センターに相談 ⇒ 認知症疾患センターへ相談 ⇒ 訪問

・訪問時状況

自宅は、屋根が陥没しゴミ屋敷状態。

降雨時には室内で傘をさして生活。入浴も2年程度していない。家族は娘が1人、県外で生活。過去に半年間娘宅で生活したが金銭面での折り合いが悪く自宅へ戻る。健康保険料・介護保険料も滞納。借金あり。

・経過

包括よりどのように勧めたらよいか？

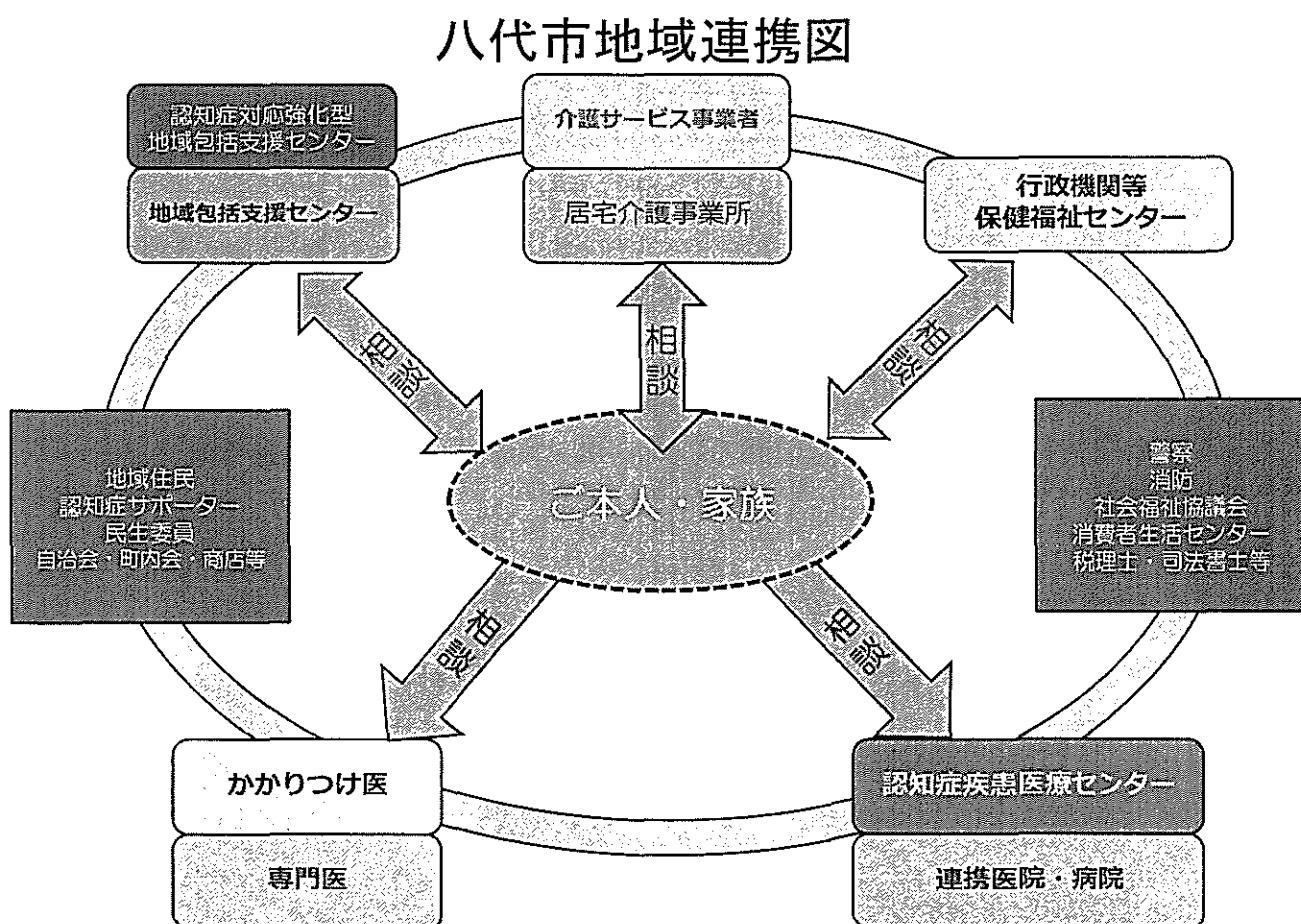
⇒ 地区の民生委員等に見守り等協力を求めるとともに、娘に現状を報告し、本人の生活状況を確認するよう依頼。

⇒ 娘が状況確認。認知症疑いを疑い、近隣医を受診。センターからの情報を基に認知症を診断。娘宅で同居となり、介護サービス導入に向け娘在住エリアの地域包括支援センターを紹介。

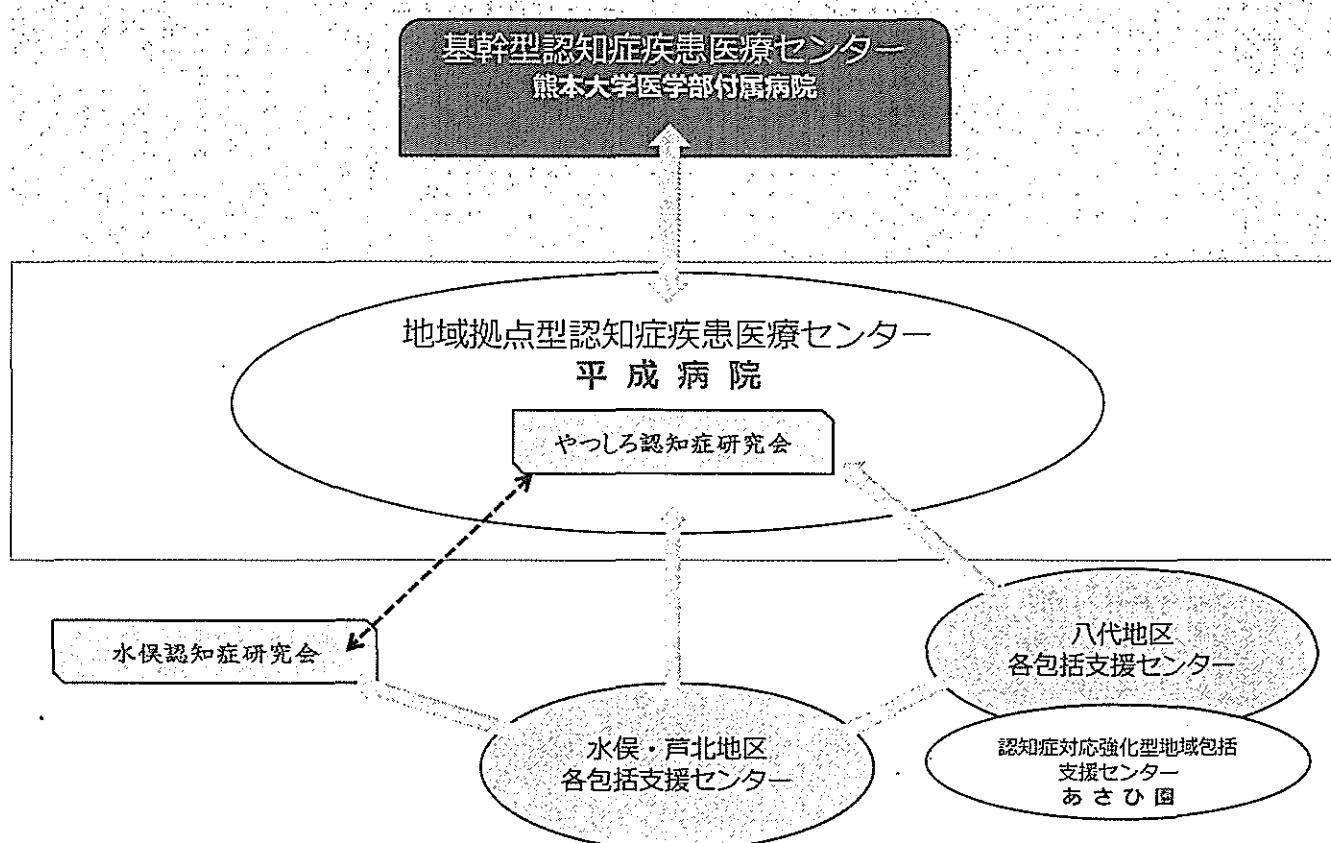
⇒ 本人宅エリアの民生委員等へお礼を兼ねて結果・現況報告。

当認知症疾患医療センターの課題

1. 外来予約待ち状況（2ヶ月待ち）
2. 外来での待ち時間
3. かかりつけ医との連携強化
(逆紹介を含めて)
4. 入院が必要な方のタイムリーな受け入れ
(緊急入院のための空床確保)
5. 重篤な身体合併症を有する方の受け入れ
6. スタッフの質の向上



認知症疾患医療センターの県南地区との地域支援体制



ご静聴ありがとうございました